

話せるけど書けない、
そんなときは
ライターにご依頼ください。

インタビューライター 丘村奈央子
制作メニュー・料金のご案内



一般企業からの直接受注による
文章作成、取材・執筆のほか
制作会社・出版社
編集プロダクションからの
ライティング業務を請け負い、
自然な会話で本質を引き出す
インタビューを得意とします。

必ず作業前に
お見積もりを明示しますので、
まずはご連絡ください。



お客様は話すだけでOK。

お客様は思いのまま話だけ。
テキストに必要な情報は
ねらいやコンセプトをお聞きした上で
インタビューから引き出します。

教材編集や社内報制作の経験から、
誠実な仕事ぶりや真摯な人柄、
長所を掘り出しテキスト化します。
真面目に取り組んでいる姿勢を、
わかりやすく伝える文章がほしい。
そんな皆さんからご依頼いただいています。

派手でなくてもいい、
誠実な人柄が伝わる文章を。

基本料金

取材 60分 10,000円+税 / テキスト作成 400字 5,000円+税

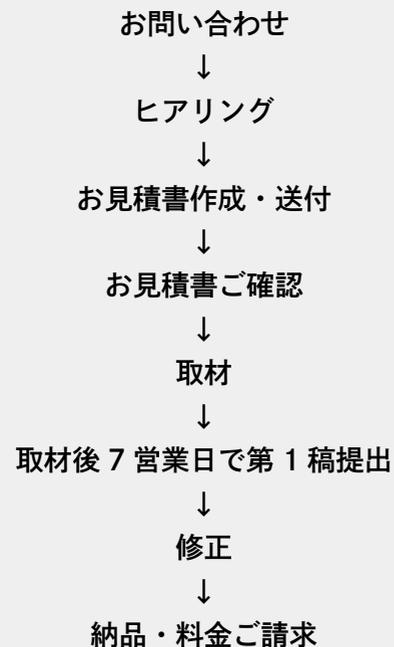
ライターの報酬計算方法はいろんなパターンがありますが、私は**取材費+作成費+交通費**の合計で算出します。そのため、お客様には事前に内容を確認して、どんな情報をどれだけ文章に載せればよいのかを考え、作業量と必要な金額を明示した「お見積書」を作成しています。

例) 90分インタビューを行い、「事業案内」を800字作成 → 25,000円+税+交通費

取材 90分 15,000円+税 テキスト作成 800字 10,000円+税 交通費 の合計

詳しくは <http://edi-labo.com/memu.html> に掲載しています

ご依頼の流れ



①ご連絡をいただいたらメールや電話などで
詳細をうかがいます。どんな媒体で文章が必要
なのかをお聞きし、取材時間・文字数を見
極めます。

②ヒアリングからお見積もりを作成。作業内
容と料金に問題がなければご署名・ご捺印い
ただき、作業に入ります。

③お会いする日時を調整してインタビューし
ます。取材して7営業日後までに第1稿を提
出、修正箇所があれば対応し文章を直します。

④直しを終えて完成テキストを納品後、お見
積もりにもとづいてご請求します。月末締め、
翌月末日のお振り込みをお願いしています。

ご利用内容

会社のホームページを
リニューアルしたい

現在のホームページの不満点をお聞きし、どんな内容で構成すれば改善できるかを考えます。掲載スペースやねらいに合わせて文字数を設定、必要な時間でインタビュー。お聞きした内容で文章を組み立てます。



採用案内ページで
社員紹介を
載せたい

求人ページでは生き生きと働いている社員を紹介するコンテンツが欠かせません。志望動機や現在のやりがいのほか、人柄が出るエピソードを掘り起こして文章にします。



社内報の
コンテンツが
足りない

特集・職場紹介・人物紹介など、必要なパーツのみの取材を行っています。社内報や広報誌のコンセプトをお聞きし、どんな読後感を求めるのか事前共有するので、ブレのないコンテンツを作成できます。



導入事例
をまとめた

直接お客様のところへうかがい、インタビューして文章化します。

社員や顧客の
座談会や
対談をやりたい

あらかじめ目的をお聞きし、どんな人を集めるかご提案します。当日は進行役を引き受けるので参加者は自分の発話だけに集中できます。必要な文字数で作成。長く語る型・テンポ良い会話型などスタイルも多様。



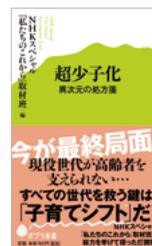
定期的な
社長コラムを
出したい

載せたい内容を話すだけで大丈夫。必要な文字数のコラムに仕上げます。

ブックライティングも 行っています

コンテンツはあるけれど書く時間がない、話せるけれど書くスキルに不安がある、そんな著者をサポートするブックライティングを行っています。現在は出版社からのご依頼がほとんどです。報酬は、作業量／納期／難易度などによって変わります。一度ご相談ください。

商業出版での実績



**超少子化
異次元の処方箋**
NHKスペシャル
「私たちのこれから」取材班 編
ポプラ新書
2016年4月刊行

2016年2月20日の放映で
紹介しきれなかった討論詳
細や施策、海外情報を網羅。



**問題解決に効く
「行為のデザイン」思考法**
村田智明 著
CCCメディアハウス
2015年9月刊行

朝日新聞読書欄で紹介され、
一気に5刷へ。専門家以外
にもわかりやすいと好評。



**子どもの能力を決める
0歳から9歳までの育て方**
田宮由美 著
KADOKAWA 中経出版
2013年12月刊行

企画・ライティングを担当。
プレマへの出産ギフトと
しても喜ばれています。



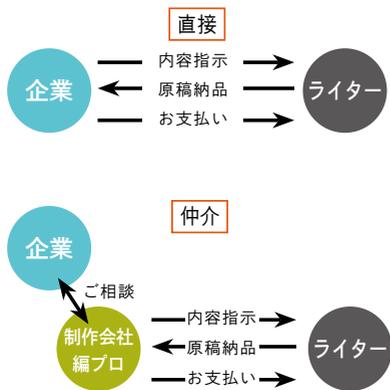
**介護業界
人材定着マニュアル**
保坂勇人 著
レクシスネクシス・ジャパン
2015年8月刊行

第3章のみライティング
なぜ業界に人が定着しない
のか、原因と解決策を提示。

著者の書籍ライティングをサポートする職業について、すでにライターとして20年以上のキャリアを持つ上阪徹さんが「ブックライター」という呼称を提唱しました。ゴーストライターではなく、ブックライター。取材と構成に携わった者として奥付やあとがきにも名前を出せる仕事の一種と捉え、実践されています（詳しくは『職業、ブックライター。』講談社刊）。

私も2015年4月に上阪徹ブックライター塾第2期に通い、修了後から「ブックライター」と名乗っています。塾では取材方法、構成立て、言葉の選び方、ボリュームある資料のまとめ方などとともに、コミュニケーション、締切の大切さを学びました。今後も得た知識を生かし、著者や出版社の皆さんの良い黒衣でありたいと考えます。

直接・仲介とも承ります



一般企業から直接のお申し込みで作成が可能です。窓口となるご担当者と取材アポイントを調整します。内容指示をいただき、取材後に納品・ご確認・ご請求を行います。

ホームページや広報誌の**制作会社・編集プロダクション**とのお取引も可能です。制作・編集のご担当者と内容について調整し、納品・ご確認・ご請求もそちらで行います。

同じ内容の作業であれば、どちらのお取引でも同金額です。

人手が足りない企業ほど文章作成のアウトソーシングを

企業がホームページ・社内報・広報誌を制作するとき、専従でその業務だけを行えるスタッフがいるケースは稀です。ほとんどが総務・人事などの「本業」に追われながら空いた時間で制作しているのではないのでしょうか。文章作成は時間がかかり、本来やりたい仕事を抱えているスタッフには大きな負担になっているのが実情です。

そこでご提案するのが「**文章作成のアウトソーシング**」です。プロのライターはコンテンツのねらいを的確に定め、必要な質問を準備します。読みやすい文章についてもノウハウがあり、兼業スタッフよりも質の高い内容で仕上げられます。スタッフが少ない企業ほど人員を生産性が高い業務に就かせたいもの。ライターは文章力でそのサポートを行います。

お客様の声、ご感想

外資系企業／ホームページ文章作成

限られた時間内にも関わらず、丘村さんの話の運びや端的な質問で非常に気持ちよく自身の伝えたい事を言う事ができ、とても満足しました。丘村さんのポイントをついたインタビューで、頭に漠然と広がっていたアイデアを短時間で自然と吐き出せたようです。

スクール講師／プロフィール作成

自分の人生をプロの力を借りて振り返ってみたいかったです。さすが言葉の、そして聞き方のプロ。どんどん私の引き出しをあけてくれ、そしてきちんとまとめ上げてくれました。自分自身を客観的に振り返ることができました。思いきって頼んでよかったです。

機械系商社／社員紹介作成

インタビューでいろいろ楽しくお話できて非常によかったです。拝見させていただきましたが、プロのライターの表現力に大変感心しました。

広告代理店／広報誌インタビュー作成

世間話のようなゆったりした取材だったのでどうまとまるのかと思ったのですが、しっかり読み物として構成されているのでさすがだなと思いました。

その他、IT、製造、物流、建設、アパレル、旅行などの各種企業、研究機関のベンチャー、大学、土業とのお取引実績があります。

プロのライターに頼むメリット

「聞いて書く」のは、言葉の読み書きができる人ならみんなが可能です。でもわざわざ報酬を発生させて「インタビューライターが聞いて書く」メリットは何でしょうか。

書く作業に入る前に、交渉と調整ができる

読みやすい文と構成に直すことができる

インタビューで的確な質問ができる

だから、プロに頼むと「原稿と時間の質」を上げられる

起こりがちなのは、あとから「これもあれも入れたい」と要望が出てくること。プロは「この話は今回の筋から考えるとカットしたほうがよい」「あふれた内容はこの項目でフォロー」と現場でいくつも案を出します。書く前に確認すると原稿のブレが減るからです。

また、読みやすさの工夫は対象によって変えるものです。たとえば若者とシニア層では響く語彙が違い、筆致の硬軟やリズムで文の印象はガラッと変わります。コンセプトに合わせてそこまで調整して原稿を仕上げるのがライターの仕事。たしかに依頼するとコストはかかりますが、原稿の質は上がり、皆さんは取り組むべき業務に専念できるので時間の質も向上します。

ライターへ、 どうやって依頼すればいい？

日常的に出版や制作業務に関わる人以外は、ライターへ仕事を依頼する機会が少ないかもしれません。周囲からもよくこういった質問をいただきます。

「ライターを見つけたけれど、どうやって頼めばいいの？」

「依頼するときは何を準備すればいい？」

そこで、初めてライターに仕事を頼む際、どんな情報が必要かをまとめてみました。

まずは作業にかかる料金・日数・必要な資料を把握して、それから正式に依頼するかどうか判断したいですね。ライター側でも請ける前に全体の作業量を見定めたいと考えます。

そのために、お申し込み時はフォームやメールに下記の5ポイントをご記入ください。

依頼前に確認するとスムーズ

- ① どこに掲載する予定なのか？
- ② どのくらいのスペースに入れるのか？
- ③ 誰に伝えたいのか？
- ④ どんな「読後感」がほしいのか？
- ⑤ 期日はいつか？

上記がわかればスムーズにやり取りができます。私以外のライターに頼むときも有効なポイントなので、ぜひ依頼前にこの5つを確認してみてください。もちろん5項目全部が揃わない、どう決めてよいかわからないというときもお問い合わせください。これまでの事例を参考に内容・ご予算・期日のバランスを考えてご提案が可能です。

5項目の理由について、<http://edi-labo.com/hajime.html>にも詳しく掲載しています

頼まずに自分で書きたい！ そんなときの手順とは

でもやっぱり、自分でインタビューして書いてみたい。そんなときはこちらの手順を参考にしてください。私もいつも行っています。

- ① 準備 | インタビューの目的を考える
- ② 準備 | 目的に合わせた質問を準備する
- ③ 準備 | 質問はなるべく多く準備しておく
- ④ 当日 | インタビューを一問一答にしない
- ⑤ 後日 | 聞き出した内容を整理する
- ⑥ 後日 | インタビュー記事としてまとめる

書くなら準備を万全に

どうしてその人へ話を聞きに行こうと思ったのか、目的は必ずはっきりさせてください。これがわかれば、質問事項がおのずと絞られてきます。

たとえばA課長へインタビューする場合、「チームワークの秘訣」を聞きたいのであれば、部下との接し方やその考えに至った経緯、チームがまとまるまでに苦労した点などを聞くとの目的の記事に近づけます。もし「スキーで賞をもらった話」を聞きたいのであれば、仕事と趣味の両立方法やご家族との関係、今までのスキーのキャリアなどが質問になるでしょう。

同じ人に話を聞くのでも、こちらの目的と質問次第で行き先が変わります。当日あわてないために①はしっかり意識してください。

目的に沿う思いつきは何でも書き留めておいて当日ご本人に直接聞いてみてください。思いつき＝質問です。多ければ多いほど、新しい情報を聞けるチャンスが増えます。

インタビューのコツは、<http://edi-labo.com/interviewhouhou.html>にも詳しく掲載しています

ライティング以外の活動

独立した当初はシンプルに「聞いて書く」仕事を行っていましたが、交流した方からのご提案やご要望、お客様からのご相談などに合わせて活動を広げています。詳しくは URL 先のリンクサイトを参照ください。

人間関係を良くする聞き方セミナー

<http://edi-labo.com/kikikata.html>



2011年からは始めたセミナー。大阪と東京で15回を超える開催実績があります。

自分が取材で使っている方法なら日常生活の会話も楽しめることに気がつき、体系的にお伝えする場をつくっています。参加者は同業のライターのほか、会社員、公務員、セラピスト、看護師など。「聞くこと」に関心がある方ならどなたでも大歓迎です。

本屋で本を3冊買う会

<http://edi-labo.com/hon3satsu.html>

ついネット通販で本を買うことが増え、本屋さんで「思わぬ出会い」をする機会が減っています。そこで「みんなで本を買いに行き、何を買ったかランチを食べながら披露する」という会を立ち上げました。開催実績はまだ数回ですが、それぞれ選ぶ本に考え方や歴史が見えるので、買いたくなった背景を聞くだけでも面白いです。

丘村インタビューズ

http://edi-labo.com/oka_interviews.html

私が個人的に「話を聞いてみたい」と思った方へ直接アポイントをとってインタビュー。ブログに掲載して皆さんに読んでいただく記事にしています。自薦や他薦ではなく、私が聞きたい人へ聞きたいことを尋ねる個人企画です。

取材を受けてくださった方々

ライフネット生命保険 出口治明さん/作家
奥野宣之さん/日本モダンガール協会 浅井
カヨさん/デザイナー 村田智明さん など

個人メルマガ「ゆるメル」

<http://edi-labo.com/yurumeru.html>

ラジオのようにリラックスしながら受信できるメルマガ。大型連休を除く平日夕方に配信しています。一日の息抜きにどうぞ。

聞く仕事、書く仕事。

<http://edi-labo.com/blog/>

ライター業を始めたときに立ち上げたブログ。お客様とのやり取りや日々考えたことを綴っています。

15分早く帰る仕事術

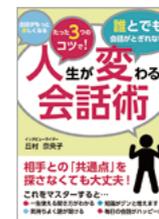
<http://ameblo.jp/okmr09/>

OL時代に効率化のため編み出した小技をまとめて掲載。一部は電子書籍になりました。新人さんに読んでほしいブログ。

書き方・聞き方 無料 PDF 集

<http://edi-labo.com/PDFs.html>

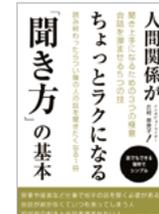
電子書籍 自著



人生が変わる会話術

丘村奈央子 著
ごきげんビジネス出版
2016年8月刊行

聞き方と実践方法の詳細を追加。プリントオンデマンドに対応し、紙の書籍型でも購入可能に。



人間関係がちょっとラクになる「聞き方」の基本

丘村奈央子 著
ごきげんビジネス出版
2014年7月刊行

好評の聞き方を電子書籍にまとめました。



15分早く帰るためのオフィス仕事術【机周り改善編】

丘村奈央子 著
ごきげんビジネス出版
2013年10月刊行

OLブログを一部電子書籍に。事務の効率化に最適。

地道に働く人の声を聞く

私がフリーライターになったのは2010年5月です。その前は電機メーカー・シャープの広報室で3年ほど社内報の制作に携わっていました。社内報は毎月1回発行されますが、数万人の社員で登場できるのはほんの一部の方だけです。幹部の発言や開発・企画部門はニュースになりやすい反面、目立たないけれど確実に貢献しているはずの地道な業務の方々について、取り上げる回数が少ないという個人的な悩みがありました。

地道な仕事でも奥は深く、話を聞けば絶対に面白い。1つの企業を離れてもっと多くの「仕事にまつわる話」をインタビューしたいと考えたのが独立のきっかけです。おかげさまでいろんな職種・企業・人に会い、さまざまなスタイルの原稿を手がけられるようになりました。

仕事のご依頼・お問い合わせ

okamura@edi-labo.com

公式ホームページ

<http://edi-labo.com/>

丘村奈央子 経歴

Okamura Naoko

1973年長野県生まれ、信州大学人文学部卒業、松本市の日刊の新聞社に広告営業として就職。2000年から(株)ベネッセコーポレーション『進研ゼミ』で高3生の国語／社会科の編集・進行管理・校正に携わる。2004年9月から1年半中国と韓国に語学留学、旧HSK8級を取得。結婚後は関西に在住、2007年1月に大手電機メーカー・シャープ(株)広報室で社内報編集職に就く。2010年5月にフリーライターとして独立、エディラボ代表。2012年5月から横浜市在住。気持ちよく話せるインタビューが好評で、取材したお客様からは「つい話してしまった」「これを言いたかった」という感想が多数。

ツイッター：@okmr09 / フェイスブック：naiyangzi

■ この冊子は業務を知っていただくために無料配布しています。ご希望の方は、郵便番号・マンション名を含めたご住所・お名前・部数をお知らせください。公式ホームページではPDFでの入手も可能です。

■ 描き方・聞き方に関する個別コンサルも行っています。 © エディラボ 丘村奈央子 (2017.01)